



NSN 通信 Vol.10 2023.10

Nursing Students from Niigata

＜発行＞高等教育コンソーシアムにいがた
看護系タスクフォース 第10号担当



真の強さを学ぶ。

新潟大学
NIIGATA UNIVERSITY



看護系タスクフォースがお届けするニュースレター
「NSN 通信」今号は、新潟大学二年生による佐渡での
実習と、四年生から後輩へのメッセージについて
をご紹介します(^_^)



新カリキュラムにおける新潟地域看護学実習

本年度より佐渡を実習地とする新潟地域看護学実習は新カリキュラムとなり、二年生が実習を行いました。実習では学生が二人一組になり、地区踏査（地域を歩き、見たり、住民に聞いたりすること）や家庭訪問を行い、佐渡の健康課題や保健福祉活動に触れ、人々の生活と健康行動や思いについても直接インタビューができました。その中でインタビューを重ねるごとに住民同士が丸となって助け合う繋がりが強いことを感じました。

また、地域住民の方が学生を温かく歓迎して下さい、住民と直接触れ合うことの重要性和楽しさを実感しました。フィールド実習を終えた後には、オンラインで地域組織活動の紹介をして頂いたり、保健師さんや健康推進員の方、住民代表の方への報告会を行ったりしました。普段の座学で学べないことを肌で実感できた実習となりました。

医学部保健学科看護学専攻2年 川合 世蘭



看護を学ぶ後輩へのメッセージ

コロナ禍の影響がありながらも、講義や演習では、課題に取り組んだり、実技の自主練習に積極的に参加したり、グループワークでの学生同士の意見交換で互いに刺激あいながら有意義な学習ができました。また、臨地実習は制限もありましたが、実際に患者さんや看護職の方と関わる中で自分の看護観に気づく貴重な機会を得ました。そして今、この経験が、進路決定や就活の面接において重要であったと感じています。

大学での4年間は、学業はもちろん、たくさんのことに挑戦するチャンスがあります。私は看護学専攻や部活動、サークル活動、アルバイトなど様々なコミュニティの中でかけがえのない仲間との出会いがありました。是非たくさん挑戦して同じ志を持つ仲間と出会い、充実した楽しい大学生活を送ってほしいと思います。

医学部保健学科看護学専攻4年 山田 理子



第10号担当

高等教育コンソーシアムにいがた 看護系タスクフォース
新潟大学 担当(保健学研究科 准教授 西方 真弓) TEL:025-227-2370

